

# 今後の下水道浸水対策のあり方検討委員会

## (第3回)

### 議事録

- ・開催日時 令和3年12月20日(月)午前10時～午前11時30分
- ・開催場所 新宿NSビル3階3-I会議室(東京都新宿区西新宿2-4-1)
- ・出席者(50音順 敬称略)

学 識 委 員	大田 和枝	東京都下水道局下水道サポーター
〃	渋尾 欣弘	東京大学大学院特任准教授
〃	中澤 さゆり	弁護士
〃	平林 由希子	芝浦工業大学教授
〃	森田 弘昭	日本大学教授
行 政 委 員	佐々木 健	東京都下水道局計画調整部長(欠席)
オブザーバー	谷崎 馨一	東京都都市整備局都市基盤部長 (代理出席:寺澤 孝 東京都都市整備局 都市基盤部施設計画担当課長)
	齊藤 俊之	東京都建設局河川部長 (代理出席:河重 貴之 東京都建設局河川部 中小河川計画担当課長)
- ・議事次第
  - 1 開会
  - 2 議題
    - 委員会報告書(案)について
    - その他
  - 3 閉会

・配布資料

資料1 委員名簿

資料2 座席表

資料3 委員会（第2回）議事録

資料4 今後の下水道浸水対策のあり方について報告書（案）

**【委員会報告書（案）に対する意見等】**

・P18の1段落目の文章ですが、国土交通省が行った気候変動の影響による将来の降雨量の増加に関する検証は、IPCC第5次評価報告書の実験内容を用いているものではないので、「IPCC第5次評価報告書を踏まえ」が、どこにかかっているか分かりづらい文章になっていると思います。【平林委員】

⇒誤解がなく正しい表記になるように確認させていただいて修正します。【事務局】

・P4、P5、P21において、1時間50ミリ、75ミリ、100ミリ及び想定し得る最大規模の降雨に対する年超過確率の記載がありますが、これらは何年から何年の統計データから分析されたものなのかを記載していただきたいと思います。【平林委員】

⇒記載します。【事務局】

・P7、図表2-5重点化地区の概要についてですが、重点化地区以外の場所の浸水に対する安全性について、住民目線からすると自分が住んでいる所がどうなのかを気にされると思うので、補足する文章を入れたほうがいいのではないのでしょうか。【平林委員】

⇒流出解析シミュレーションにより下水道施設の能力検証を行った結果、1時間50ミリ降雨より浸水被害が発生する面積は、区分全域の面積に対して約0.2%だと記載しております。【事務局】

⇒住民が見ても分かりやすい言葉で一言入れていただくとリスクが大きくないことが分かりやすくなるのではないかと思います。【平林委員】

⇒どのような表現で、どの部分に記載できるか検討させていただきたいと思います。【事務局】

・この報告書に入れる必要はありませんが、1時間50ミリ、75ミリ、また、対策前、対策後で複数の流出解析シミュレーションを実施されていますので、今後、その情報を提供できるように整理していただけたらいいのかなと思います。危険性を区別することができますし、整備水準を超える場合など、ソフト対策の必要性が分かりやすくなると思います。また、このように多くの情報を発信する場合、これらを生かすことができない人もできます。避難の情報を行動に結びつけるような、例えばプッシュ型かつ分かりやすい警報の出し方などについて記載できないのでしょうか。【平林委員】

⇒下水道事業者としてどの程度まで対応できるのか、区や関係機関との関連もありますので、追記・修正の表現等については、調整させていただければと思います。【事務局】

・前回の委員会での発言と重複するかもしれませんが、地下室・半地下室の浸水リスクについて、排水ポンプを設置するなどの対策もありますが、住民の方への広報により、浸水リスクについて周知してほしいと思います。【渋尾委員】

⇒これまでも、局のHPやリーフレットなどで、地下室・半地下室の浸水リスクについて都民の方に周知しております。これまでの取組例に追記します。【事務局】

・情報の発信について、ソフト対策の中で情報の発信の在り方で多言語化などの対策の記載がありますが、高齢の方や障害がある方などへも配慮することが分かるような表現にしてほしいと思います。【渋尾委員】

⇒修正します。【事務局】

・委員会報告書（案）の内容は、これでいいと思います。今後の浸水対策を着実に進めていってほしいと思います。【大田委員】

・私も、この委員会報告書（案）の内容でいいと思います。今後、新しい中長期目標ができることで、住民の方にとって何がどう変わるのか、どんな影響があるのかということなど、区とも連携しながら広報してほしいと思います。【中澤委員】

⇒都民の方にきちんと伝わるよう努めていきたいと思います。【事務局】

・委員会報告書（案）の内容は、これでいいと思います。気候変動の影響については、河川やまちづくりなどの関係機関と連携して対応していくことが必要だと思います。【渋尾委員】

⇒P36に記載のとおり、関係機関と連携して対応していきたいと思います。【事務局】

・ご意見をいただいた内容について事務局で検討し、修正した最終報告書を委員の皆様にご確認させていただきたいと思います。【森田委員長】

⇒各委員と調整させていただき、追記や修正を行っていただきたいと思います。【事務局】

以上